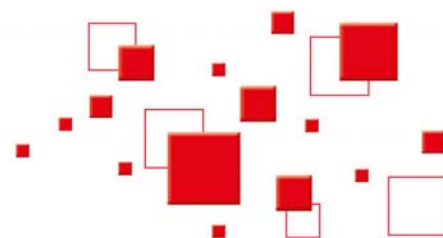


# テクニカルインフォメーション

## プロファイラーホワイト



2 液型プライマーフィラー

製品分類: C 2.3

### 製品説明

プロファイラーホワイトは、ポリウレタンベースの 2 液型フィラーです。本品は、塗装時の速乾性と研磨性に非常に優れており、プラスチック素材に使用することができます。(A 1.6.1 / A 1.6 を参照ください)

### 付加情報

様々なグレーシェードを製作するために、多様な混合比でプロファイラーブラックと混合することが可能です。それぞれのベースコート用に、最良のグレーシェードを選定するには、グレーシェードコンセプトを参照ください。スピードフラッシュ S と混合することで、乾燥時間を短縮することができます (60°C で 15 分、20°C で 1 時間半、または短波長赤外線で 6 分)。ただし、塗料の新しいポットライフは 20°C で 20 分が限界となり、また塗膜の厚さは 50 - 70 µm の範囲内となります。

### 技術特性

固形分 73 % ± 2	比重 1.660 - 1.760 g / cm <sup>3</sup>
保管温度 最低 5°C ~ 最高 45°C	保管期間 24 ヶ月

### 使用方法

使用前に、よく攪拌してください。

つやが消えるまで、塗装間でフラッシュオフタイムを取ってください。乾燥前のセッティングタイムは不要です。

### 下地 / 前処理 / クリーニング

洗浄: PK 700 または PK 900

研磨: 鋼板は P 80、アルミニウムは P 150 - P 180、亜鉛鋼板と耐溶剤性の旧塗膜は P 240

洗浄: PK 1000

生地鋼板の露出面積が広い場合、ユーロフィルを塗装してからフィラーを塗布。







本文書内のデータは、現時点での弊社の知識と経験に基づいて提供しております。弊社の製品を使用した作業、ならびに塗装に影響を及ぼす可能性のある様々な要因を考慮すると、本書で提供されている情報に関わらず、製品使用者それぞれにおいて調査や試験を実施する必要があります。本文書内の記述、図表、写真、値、比率、重量などは、一般的な情報に限定して提供しており、事前の通知なしに内容が変更されることがあります。また、製品仕様など、契約上同意した製品の品質とは区別して取り扱うものとします。最新版の文書が、全ての古い文章より優先されます。最新版は、Web サイト [www.rmpaint.com](http://www.rmpaint.com) または、営業担当者から入手することができます。弊社の製品使用者は、所有権、法律、規定など責任を持って順守しなければなりません。

R-M Automotive Refinish Paints, Z.I. du Merret F-60676 Clermont de l'Oise Cedex, Tel. (+33) (0) 3 44 77 77 77, 10/2015





# テクニカルインフォメーション

## プロファイラーホワイト

	プロファイラーホワイト: 100% (vol.) 100 g D 70 / D 80: 25% (vol.) 14 g FR 500 / R 2100 / R 2200 / R 2300 25% (vol.) 13 g
	塗膜粘度 (20°C): ISO 4 カップ: 50 – 65 秒 DIN 4 カップ: 20 – 24 秒
	ポットライフ: 20°C で 1 時間
	HVLP 重力式スプレーガン: 1.7 – 1.9 mm 0.7 bar (先端) 汎用重力式スプレーガン: 1.6 – 1.8 mm 2.0 – 2.5 bar
	塗装回数: 2 回 膜厚: 50 – 70 μm
	乾燥時間 (20°C): 3 時間 乾燥時間 (60°C): 30 分
	短波長: 8 分 中波長: 10 – 15 分

### 仕上げ

	空研ぎ: P 400 – P500
	水研ぎ: P 800

### 安全に関する注意

2004 / 42 / IIB (cII) (540) 539: 製品分類: IIB.cII RFU での EU 制限値は 540 g / L

本製品の VOC 含有量は 539 g / L

本製品には、取り除けない 0.1 μm 未満の細かい粒子が含まれている可能性があります。

業務用向けに限定された製品です。

これらの製品を使用される際には、労働安全衛生ガイドラインに従い個人保護具を着用して下さい。

